

SUPERBIKE

EXtra, EXpert and EXtreme EXPRESS--

MFJ Superbike Round5 SUPERBIKE RACE in OKAYAMA 25-26 September, 2010

2010-5



伊藤真一、 ラストアタックで逆転ポール!

QUALIFYING PRACTICE & RACE

OFFICIAL RESULTS
REPORT & INTERVIEW

ウェット～ドライへ。難しいコンディションの中、伊藤真一が鮮やかな走りを披露。逆転で2戦連続のポールポジション!



中須賀克行はQ3で一旦トップに立つものの、2番手グリッドからのスタートとなった



前回SUGOの雪辱を期する秋吉耕佑は3番手からスタート

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

**QUALIFYING PRACTICE
REPORT&INTERVIEW**

第4戦から約1カ月、やっと秋らしい気候になり迎えた第5戦は岡山国際サーキットが舞台。ノックアウト方式で行われた公式予選は、開始前に降り出した雨の影響で、いきなりレインコンディションでQ1が始まる。その後、雨は止み、天気も回復したことからQ3では、ほぼドライコンディションとなっていた。

この不安定なコンディションの中、前戦のSUGOで完全復活を果たした伊藤真一は、今回も好調をキープ。予選を冷静に戦っていた。雨が止み、路面が乾く方向だったため、レインセットにしたTカーでQ1を走り6番手につけると、Q2からドライセッティングのメインカーにスイッチ。最終セッションとなるQ3では、最後に予選タイヤを履いて、ただ一人1分29秒台に入れ、鮮やかにポールポジションを奪取した。「決勝は晴れと読んでいたので、雨では無理せずにいった。最後は、もっといいタイムを出して終わりたい。雨上がりがりだから路面の状態がよくなく、思ったほどタイムを出せなかった。決勝は、中須賀くんも速いと思うし、秋吉、亀谷も来るでしょう。最後に勝てるようにレースを組み立てたいね」と伊藤。

一方、暫定ランキングトップを走っている高橋巧は、Q2で敗退するという緊急事態に陥っている。事前テストからタイムが出ていなかったが、レースウィークに入ると、さらにマシンセッティングが悪い方に行ってしまったようだ。タイトル争いでは、開幕戦以来、ランキングトップを守ってきた高橋巧が、その座

を守るか注目される。前回のSUGOでは決勝朝のウォームアップで調子を取り戻してただけに、7列目からの追い上げに期待だ。

3連覇を狙っている中須賀にとっては、少しでも多く高橋巧とのギャップを埋めておきたいところ。今回は、その絶好のチャンスだ。

「レインはよくなかったのでQ3がドライになってラッキーでした。フロントロウを確保しようと予選タイヤでアタックして、一時はトップに立ったんですけど、伊藤さんが速かったですね。フロントロウが確保できたので、決勝はなるべく少ない台数で早めに逃げたいと思っています」と中須賀。レース序盤から全力で攻めてきそうだ。

事前テストでは、ただ一人1分28秒台に入れ好調だった秋吉耕佑だが、今回のレースウィークに入ると絶不調。なかなか秋吉の思うようなマシンに仕上がらず、コースインしては、すぐにピットに戻り、セッティングを進める姿が見られた。

「初日からの問題がなかなか解決できないですね。事前テストのときに1分28秒台で走った仕様と、もう一つの仕様があるので、それを決勝朝のウォームアップで試してみます」とデータがあるだけに、そのセッティングがハマれば、いつもの章駄天ぶりを発揮するはずだ。

決勝は、中須賀のスタートダッシュが決まれば、序盤からレースをリードしそうだ。そのペースに何人がついていけるかでレース展開が決まってくるはず。アペラージュでは伊藤が群を抜いているだけにトップに立てばイニシアチブを握りそうだ。いずれにせよ伊藤と中須賀を中心にレースは展開されるだろう。これに秋吉を始め、ドライのセットを詰め切れていないという柳川明と亀谷長純もトップ争いに絡みたいところ。ノーポイントだけは避けたいが、今回の順位がランキングに大きく影響する可能性も高いだけにタイトルを引き寄せるためにも攻めていきたいだろう。果たしてタイトル争いの行方はいかに!? 今回がターニングポイントとなりそうだ。

[佐藤 寿宏]



Pole Position 伊藤 真一 1'29.574

「テストではタイム出しにはいかなくて、細かいセットを詰めていました。レースウィークにコンマ5秒くらい詰める予定で、それを初日に出せたので順調にできていました。いろんなセットやタイヤ試してダメ出しをして予選に臨みました。雨が降らなければ、3人ぐらいは28秒に入ったと思うし、あわよくば27秒に入りたいと思っていただけ、コースレコードを破りたいと思っていたので残念なタイムでしたね。決勝は、やってみないと分からないけれど、中須賀選手、秋吉選手、亀谷選手との争いになると思う。10周を過ぎた辺りで、ペースを維持するか上げるかを考えます。最終的にトップを狙えればいいかなと思います」



今季ベストポジションの4番手からスタートする出口修



5番手はカワサキの柳川明が獲得

QUALIFYING PRACTICE REPORT&INTERVIEW

ポールシッターインタビュー。左から篠崎佐助 (J-GP3)、伊藤真一 (JSB1000)、山口辰也 (ST600)、藤井 謙汰 (GP-MONO)

山口辰也、岡山国際も レコードを更新して ポールポジション!



Pole Position 山口 辰也 1'33.267

「事前テストは経験豊富なメカニックの斉藤さんが来てくれたので、セッティングはまずまずということまで進んでいました。レースウィークはちょっと手を加えただけで、まああのタイムが出るようになった。予選が2回あったので、2回目は1分32秒台に入れたかったけれど路面がすべりやすくコースアウトしてしまった。風も強かったのも、タイヤを新品にしても、1回目のコンマ1秒落ちまでしか出なかった。でも、その状況でタイムが出せたので、いい感じだと思います。ビレリのタイヤはウォームアップ性がすごくいいので、決勝はスタートから飛び出していきたいですね」

篠崎佐助、初めての ポールポジションを 獲得!



Pole Position 篠崎 佐助 1'37.436

「テストの時は一人でタイムを出すことに重点を置きました。予選は自分で何かを変えたわけじゃなく、監督の藤原さんにタイムの出し方を相談したら「そんなの簡単だよ、人より遅くブレーキかけて、早くアクセルを開ければいい!」って答えが返ってきました(笑)。予選中は、それをずっと頭におきながら走ると、タイムが勝手に上がってポールポジションが獲れた感じです。SUGOで山本選手が単独で逃げて優勝というレースをして、上に行かれたようで悔しかった。自分もあれぐらいの走りをしないと、来週の日本GPで海外のライダーにかなわない。決勝はスタートから前に出て、2位までラップするぐらいの勢いで優勝したいと思います」

3戦連続、2年連続。 藤井謙汰がポール ポジション獲得!!



Pole Position 藤井 謙汰 1'39.700

「事前テストではJ-GP3にも乗っているのですがGP-MONOの走行時間が少なく金曜日にやっと走れたという感じでした。予選では、いつもよりやわらかいタイヤを使ったのですが、自分の中ではしっくりこなかったのと思ったとおりのタイムは出たかなと思います。決勝はスタートから谷川さん、小室さんとの争いになると思う。1分39秒4という昨年の(自分の)レコードタイムを更新して、38秒台を出して優勝できればいいなと思います。残り3戦すべて勝たないとチャンピオンになれないので、1戦1戦勝つことを考えて走ります。もう3年も全日本を走っているの、そろそろ(タイトルを)獲っておかないとまずいかな、と思っています」

KING OF EURO FIGHTER 海外マシン最速決定戦

「King of EURO FIGHTER」とは、趣味性の高い参加型人気クラス「EURO FIGHTER」の頂点を決める大会として開催される。

その特徴は「海外オートバイメーカー限定」であること。現在、全日本ロードでは国内4メーカーの車両が中心となっているが、「EURO FIGHTER」は、外車オンリー。そのため、速さだけではなくカスタマイズの楽しさ、マシンの仕上がり美しさが多くファンを魅了している。



美しくカスタマイズされたマシンを多くの人に披露する場でもある

第1回superbike.jpアンケート 締切間近!

●9月28日(火)23:59まで

現在実施中の「第1回superbike.jpアンケート」は、9月28日(火)23:59が締切となっています。

アンケートでは、回答者全員にオリジナル壁紙をプレゼントするほか、抽選でベア10組20名様に2011年全日本ロードレース入場券などをプレゼント!!。

まだ回答されていない方は、是非MFJスーパーバイク公式ファンサイト「superbike.jp」のトップページからご利用ください。

<http://www.superbike.jp/>

※第2回superbike.jpアンケートは11月に実施予定です。

ISB 1000

●予選:天候/曇 路面/ウェット 出走29台
●決勝スタート/15:10(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	33	伊藤 真一	KeihinKohara.R.T.	CBR1000RR	1'29.574
2	1	中須賀克行	YSP Racing Team with TRC	YZF-R1	1'30.440
3	64	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'31.020
4	48	出口 修	PLOT PANTHERA	GSX-R1000LO	1'32.036
5	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'32.715
6	6	亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	CBR1000RR	1'32.843
7	221	寺本 幸司	SRAクレバールフレッシング	YZF-R1	1'34.768
8	51	高橋 英倫	BEET RACING	ZX-10R	1'35.079
9	83	中村 知雅	中村Eng&ジャパンプランニング	CBR1000RR	1'35.092
10	17	清水 都巳	ホンダドリームRT高崎B'WISER.T	CBR1000RR	1'36.326
11	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000LO	1'36.405
12	25	原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'39.207
----- 以上Q3にて決定 -----					
13	414	光元康次郎	ウッドストック&Garage414	CBR1000RR	1'45.752
14	84	田村 武士	ティクアップOIRF	GSX-R1000K9	1'45.776
15	69	谷 誠士郎	BMS RACING	CBR1000RR	1'45.839
16	15	須貝 義行	チームスガイレッシングジャパン	1098R	1'46.044
17	55	柚木 カ	ホンダドリームRT高崎B'WISER.T	CBR1000RR	1'46.276
18	99	戸田 隆	G-TRIBE	S1000RR	1'46.586
19	16	東村伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	1'46.647
20	634	高橋 巧	MuSASHIRTハルク・プロ	CBR1000RR	1'46.692
21	50	宇佐見保弘	チーム・エッチングファクトリー	YZF-R1	1'47.794
22	770	水澤 保	山科カワサキKENRACING	ZX-10R	1'47.990
23	39	飯田 将人	ホンダ緑陽会 熊本レーシング	CBR1000RR	1'48.068
24	20	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'49.854
----- 以上Q2にて決定 -----					
25	67	和多瀬邦治	DOGFISHオーテック鈴鹿	CBR1000RR	1'50.745
26	73	佐藤 大輔	SRFクラブRAIJO+1.5	CBR1000RR	1'51.080
27	49	吉田 剛規	FASTER RACING	YZF-R1	1'51.498
28	111	藤本 悦生	TeamFuji☆LunRei	GSX-R1000	1'52.797
----- 以上予選通過 -----					
29	88	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	YZF-R1	1'54.592
30	37	喜多田 学	TS関東+南成田総合サービス	出走せず	
31	66	村上 雅彦	ウッドストックレーシング	GSX-R1000K9	出走せず
----- 以上Q1にて決定 -----					
予選通過基準タイム					
公式予選Q1 上位3台の平均タイムの110% 1'54.044					
参加台数:31台 出走台数:29台					

J-GP3

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走28台
●決勝スタート/11:10(15周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	11	Y	篠崎 佐助	チーム テック2	TZ125	1'37.436
2	13	Y	浦本 修亮	Team HARC-PRO.	RS125R	1'37.809
3	6	Y	大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	1'37.998
4	5		山田 誓己	TEAM PLUS ONE	RS125R	1'38.347
5	10	Y	山本 剛大	Team NOBBY	RS125	1'38.358
6	77	Y	野左根航汰	ウェビックチームノリクマハ	TZ125	1'38.402
7	23		鎌田 悟	ENDURANCE+桶川スポーツランド	RS125R	1'38.427
8	1		菊池 寛幸	WHEELIEWITH RCT	RS125	1'38.528
9	91	Y	森 俊也	racing sayama	RS125R	1'38.586
10	29	Y	渡辺 陽向	Projectu7C HARC	RS125R	1'38.869
11	17	Y	藤井 謙汰	TSR	RS125R	1'39.117
12	9	Y	日浦大治郎	Team NOBBY	RS125R	1'39.205
13	15	P	仲城 英幸	Projectu7C HARC	HP25RW	1'39.716
14	4		徳留 真紀	チームアライアンス&ハルクプロ	RS125	1'39.853
15	61		今中 満	team Risky	RS125R	1'39.867
16	12	Y	長島 哲太	Projectu7C HARC	RS125R	1'39.935
17	31		中山 翔太	TEAM TECHNICA	RS125	1'40.000
18	71		安村 武志	チーム テック2	TZ125	1'40.168
19	7		矢作 雄馬	ENDURANCE	RS125R	1'40.176
20	46	Y	渡辺 ユキ	TEAM YUI	RS125R	1'40.234
21	37		川瀬啓一郎	KOHSAKA+バックヤードガレージ	RS125R	1'40.252
22	21	Y	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	RS125R	1'40.805
23	76		高杉奈緒子	モトバムwithヒボボタマス	RS125R	1'41.650
24	27		天野 邦博	Honda狭山レーシングチーム	RS125R	1'41.965
25	72		岩田 吉正	BATTLE FACTORY	RS125R	1'42.733
26	95		中村 光利	team RISKY	RS125	1'42.848
27	35		大西 準	Projectu7C HARC	RS125R	1'43.462
28	64		敵原 洋	チームKOHSAKA高橋商会	RS125R	1'44.715
----- 以上予選通過 -----						
75			古市 右京	EUROPORT&ASPIRATION	RS125R	出走せず
Cls:Y=ユースカップ登録者 P=プロト						
予選通過基準タイム(110%)1'47.180						
参加台数:29台 出走台数:28台						

ST 600

●予選:天候/晴/曇 路面/ドライ/ウェット 出走44台
●決勝スタート/14:00(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	30	山田 辰也	モリワキクラブ	CBR600RR	1'33.267
2	19	國川 浩道	92R・HiRaNo	CBR600RR	1'33.269
3	75	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'33.855
4	26	福垣 誠	AKENO SPEED	YZF-R6	1'34.012
5	35	中山真太郎	ATU.AKI teamしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'33.942
6	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	CBR600RR	1'34.255
7	77	岡崎 晋也	RS-ITOHGTM丸進金属	ZX-6R	1'34.350
8	2	中富 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'34.402
9	83	藤島 翔太	モリワキクラブ	CBR600RR	1'34.453
10	31	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'34.438
11	11	渡辺 一馬	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	1'34.664
12	634	小林 龍太	MuSASHIRTハルク・プロ	CBR600RR	1'34.771
13	14	津田 拓也	West Power	GSX-R600K8	1'34.998
14	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'34.939
15	3	佐藤 裕児	HiTMANRC甲子園 ヤマハ	YZF-R6	1'35.175
16	6	岩田 悟	TSR	CBR600RR	1'34.993
17	36	徳留 和樹	バーニングブラッドRT	CBR600RR	1'35.321
18	49	須藤 真仁	H.M.F.	GSX-R600	1'35.589
19	56	岡村 光矩	RSレーシング&フィービー	CBR600RR	1'35.370
20	46	瀬崎 恭広	カメイレーシング&チーム万代。	ZX-6R	1'35.643
21	73	中上 貴昌	Team HARC-PRO.	CBR600RR	1'35.388
22	37	医王田章弘	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'35.671
23	63	片平 亮樹	松本クリニックレーシングチーム	CBR600RR	1'35.510
24	78	波多野祐樹	GRACERACINGTEAM	ZX-6R	1'35.736
25	45	相馬 利胤	BMS RACING	CBR600	1'35.789
26	811	田中 潤司	B-SQUARE&大阪SAM	ZX-6R	1'35.854
27	52	豊田 浩史	アルフレッド・コア+D.REX	YZF-R6	1'35.812
28	705	黒川 武彦	松本クリニックVIPスピード	ZX-6R	1'35.910
29	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	1'35.870
30	81	佐藤 周	MST★TAMITON-R	ZX-6R	1'36.004
31	57	森 皓賢	PEE'Sモトアドベンチャー	YZF-R6	1'35.972
32	33	深津 拓真	PLOT PANTHERA	GSX-R600K8	1'36.016
33	71	奥谷 真也	チームとらお テイクアップ	YZF-R6	1'36.134
34	55	長谷川直樹	HMF&ASOGASAWARA	GSX-R600K8	1'36.155
35	82	原田 武人	グリーンクラブ&Team能塚	ZX-6R	1'36.198
36	53	高間 弘泰	STSクラブフェニックス京都	CBR600RR	1'36.451
37	54	菅原 豊	ケイズプロ&アンスタバーン	ZX-6R	1'36.460
38	69	矢田栄一朗	モトバム&レッドフェザーヨシダ	CBR600RR	1'36.507
39	810	大西 明	Bクエア&大阪SAM.RT.Y's F	ZX-6R	1'36.644
40	65	谷 正明	West Power&AW谷屋	GSX-R600K7	1'36.625
----- 以上予選通過 -----					
41	58	岸本 孝司	建築工房きしもと&ハイブリッド	ZX-6R	1'39.219
42	50	角倉 優	TeamGTMM	ZX-6R	1'36.711
43	74	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	1'39.784
44	8	清水 直樹	MST★TAMITON-R	ZX-6R	1'36.912
45	76	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING	YZF-R6	1'37.012
46	59	白木 晶夫	グリーンクラブ&Team能塚	ZX-6R	1'37.089
47	68	松本 尚樹	モトプラスレーシングチーム	YZF-R6	1'37.251
48	90	中井 恒和	ノイズ&GRIFFON&903	YZF-R6	1'39.315
51		中村 豊	TEAM PLUS ONE	CBR600RR	出走せず
50		稲垣 尚樹	DOG FIGHT RACING	YZF-R6	出走せず
72		宮崎 敦	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	出走せず
87		藤枝 稔	バナナナレーシング	YZF-R6	出走せず
91		中山 智博	RS-ITOH	ZX-6R	出走せず

予選通過基準タイム(110%)

1回目 A組 1'42.594 B組 1'42.596

参加台数:53台 出走台数:48台

2回目 A組 1'42.648 B組 1'43.018

GP-MONO

●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走22台
●決勝スタート/10:05(12周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	3	藤井 謙汰	ACH250M	TSR	1'39.700
2	2	小室 旭	HP250RF	TeamKOMUROwithHARC	1'39.933
3	6	谷川 壮洋	HP250-ハルク	CLUB PLUS ONE	1'40.620
4	16	星野 知也	MIH	ミニiBeatテリ&カリ	1'41.934
5	18	松井 洪弥	ハルクGPMR	TEAM PLUS ONE	1'42.071
6	17	坪川 浩明	MD250H	TEAM-MARGUERITE	1'42.238
7	14	山本 泰裕	GPMR250	広島カジャRacing&LRC	1'42.354
8	35	森田 直樹	HP250RF	Projectu7C HARC	1'43.418
9	25	高木 伸一	LBH250	トリム北九州・Life	1'43.471
10	22	川崎屋 学	PRCS250F	犬の乳産園JP/PRCS	1'43.565
11	32	葛西 雅道	MD250H	タニシ&Speed Heart	1'43.578
12	72	岩本 有司	PRCS250F	(有)岩本商事+Kfb/PRCS	1'43.663
13	33	楠元 晃一	YZ250RF	Garage130R&Jr's	1'43.754
14	77	奥野 寛	MD250H	チームトリルウィング+吾妻魂	1'43.821
15	66	鴻池 冬伊	BP-WR250F	マジカルR & ブルーポイント	1'43.974
16	24	赤間 清	HP250F	CLUB HARC-PRO.	1'44.145
17	48	法月多嘉夫	MARS KX250F	MARS&OMEGA&PPペアー	1'44.545
18	71	大田 敏信	モリワキMD250	TEAM PLUS ONE	1'44.948
19	23	畑中 要	YZ250F	FTR・タイヤナビ・Big☆敦	1'45.242
20	73	中本 翔太	HP250RF	TeamKOMUROwithHARC	1'46.052
21	51	増田 顕也	RBB-MONO	クラブM+松田塾+彌RT	1'46.307
22	31	友廣 聡則	WR250	マッスル・イキナR	1'59.293
----- 以上予選通過 -----					
45		川野 泰成	PRCS250F	新日本エナジー/プリミティブRT	出走せず

予選通過基準タイム(110%)1'50.093

参加台数:23台 出走台数:22台

INFORMATION

手が届きそうなくらい接近!
レーシングマシンの咆哮を間近で!!

激感エリア

(要バドックパス)

全日本ロードレース開催各サーキットで、その迫力を最も激しく感じられるであろう場所に設定されているのが「激感エリア」。岡山国際サーキットでは、1コーナーのコースサイドイン側に設けられている。この「激感エリア」へは、バドックパスを購入すれば入場が可能となる。コースサイドから大迫力のバトルを感じてみよう!!

また、バドックパスがあれば、伊藤真一選手の特設ファンルーム(ピット上222~223号室)にも入場できる!!

※バドックパス(¥6,000)、ピットウォークパス(¥2,000)は、メインスタンド奥の総合インフォメーションで販売しています。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

09:50 - GP-MONO コースイン〜選手紹介

10:05 - GP-MONO決勝レース.....12Laps

10:55 - J-GP3 コースイン〜選手紹介

11:10 - J-GP3決勝レース.....15Laps

11:50 -12:40 ビットウォーク〜ヘックスバイクバレー

13:05 EURO Fighter決勝レース.....8Laps

13:45 - ST600 コースイン〜選手紹介

14:00 - ST600決勝レース.....15Laps

14:55 - JSB1000 コースイン〜選手紹介

15:10 - JSB1000決勝レース.....20Laps

16:30 - ※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪体験走行)